

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育実習 I (施設)		福田智雄 (他)	実習	(保育所と合計で) 5	1年後期～ 2年前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格必修			
学習目標	施設保育士として就職する際に必要な知識と技能を身につけるために、基礎的な施設の機能や役割について学ぶ。また、施設で実習を行い、児童（利用者）についての理解を深めるとともに、施設内での保育士の職務内容を体験的に学習し、保育士としての資質向上を図る。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	施設実習のあり方	実習の目的と課題について			
2	乳児院、児童養護施設等の概要	実習対象施設についてその概要を学ぶ。			
3	実習課題のあり方	実習課題の設定の仕方についてモデルを用いて学ぶ。			
4	実習の注意点	実習生の勤務上の注意事項について具体的に学ぶ。			
5	実習日誌の注意点	実習日誌の書き方と注意点に学ぶ。			
6	事前指導	実習における心構えについて学ぶ。			
7	先輩からの助言	予定施設ごとに二年生から体験に基づく説明を受ける。			
8	実習	児童福祉施設等において、90時間の実習を行う。 実習では、次の項目について学習する。 1 施設での対象者の生活を体験する。 2 対象者と職員との関わり方を体験する。 3 施設の機能を体験的に理解する。 4 施設の置かれた環境を理解する。 5 利用者とその家族との関わり方を理解する。			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15	反省と今後の課題	実習終了後に施設からの評価をもとにまとめる			
参 考 書	①大学から配布する「施設実習の手引き」②講師作成によるレジメ				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	施設ごとの特徴をよく留意して実習に臨むこと。				
評価の方法と時期	講義、実習の出席状況、実習施設からの評価、実習ノートを総合して評価する。				